各種材料の面と面の角度を計算

# hklAngleソフトウエア

Version 1.03M

2023年08月20日



http://www.geocities.jp/helpertex2

- \* @version 1.0 2010-08-08
- \* Version 1.001 2010-08-10 TxtDisplayExec を修正し、起動できようにした。
- \* Version 1.002 2010-08-11 Create, Delete は再描画の為、exit()とした。
- \* Version 1.003 2011-08-16 homedir を c:\textsquare\te
- \* Version 1.004 2011-08-19 角度計算を Inverseして行う。
- \*Version 1.03 2025-01-03 Hexagonal 用に4指数入力追加

- 1. 概要
- 2. 計算式
- 3. 操作方法
- 4. 例えば、PETの場合
- 5. 高分子材料評価をWilchinsky法で解析する場合{0,-1,1}と{0,1,0}面の角度計算は
- 6. 極点図
- 7. 逆極点図
- 9. Version 1. 03

#### 1. 概要

(h 1 k 1 l 1)と(h 2 k 2 l 2)の角度を計算するソフトウエア E x c e l などで計算可能であるが、立方晶以外では軸比で角度が異なる。毎回変更するのが 煩わしいので、データベースを登録、変更出来る形式のソフトウエアとして作成した。 計算は、全てT r i c l i n i c で計算する。 データベースは、C T R ¥ w o r k ¥ h k l A n g l e ¥ D A T A に作成する。

#### 2. 計算式

それぞれの面指数を(h1 k1 l1),(h2 k2 l2)とした場合

 $1/d^2=1/V2*(S11*h^2+S22*k^2+S33*l^2+2*S12*h*k+2*S23*k*l+2*S13*l*k)$   $Cos \phi = d1*d2*(S11*k1*h2+S22*k1*k2+S33*l1*l2+ \\ S23*(k1*l2+k2*l1)+S13*(l1*k2+l2*h1)+S12(h1*k2+h2*k2))/V$ 

 $V=a*b*c*sqrt(1-cos^2 \alpha -cos^2 \beta -cos^2 \gamma +2*cos \alpha *cos \beta *cos \gamma)$ 

S11= $b^{2*}c^{2*}sin^{2}\alpha$ 

S22= $a^{2*}c^{2*}\sin^{2}\beta$ 

 $S33=c^{2*}b^{2*}sin^{2} \gamma$ 

S12=a\*b\*c<sup>2</sup>\*( $\cos \alpha * \cos \beta - \cos \gamma$ )

S23= $a^2$ \*b\*c\* $(\cos \beta *\cos \gamma \cos \alpha)$ 

S13=a\*b2\*c\*( $\cos \gamma *\cos \alpha -\cos \beta$ )

### 逆格子変換

 $a*=bcsin \alpha/V$ 

 $b*=acsin \beta /V$ 

 $c*=absin \gamma /V$ 

 $\cos \alpha *=(\cos \beta \cos \gamma -\cos \alpha)/(\sin \beta \sin \gamma)$ 

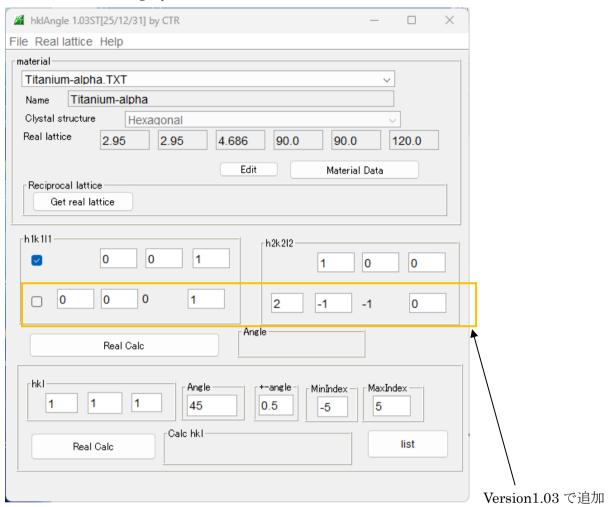
 $\cos \beta *=(\cos \gamma \cos \alpha - \cos \beta)/(\sin \gamma \sin \alpha)$ 

 $\cos \gamma *=(\cos \alpha \cos \beta - \cos \gamma)/(\sin \alpha \sin \beta)$ 

cosφ計算では、実格子計算と逆格子計算をサポート

## 3. 操作方法

# C:\YCTR\Ybin\YhklAngle.jar で起動



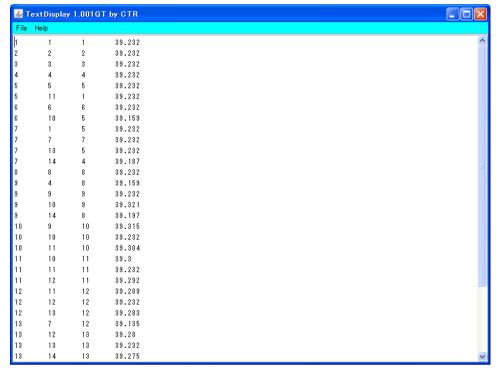
Material Aluminum.txt	で材料選択
h1k1l1	
Calc 39.232	

(h1k1l1) と (h2k2l2) を入力してCalcで計算

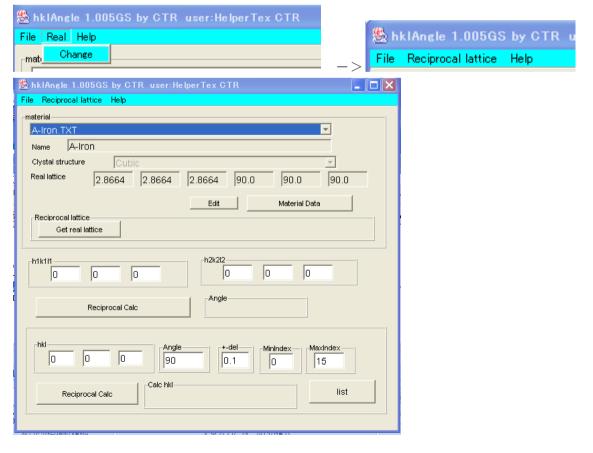
#### 検索

hkl	0 Angle 5-del 0.1	inIndex— 0 MaxIndex— 15
Calc	Calc hkl 15.0 15.0 15.0	list

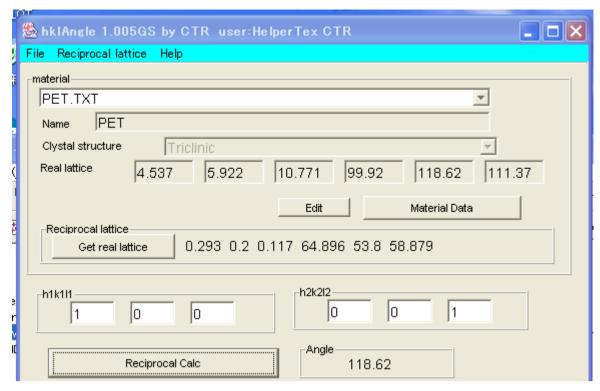
(hkl) とAngleを入力し、Calcで計算、Listで可能性ある(hkl)を表示



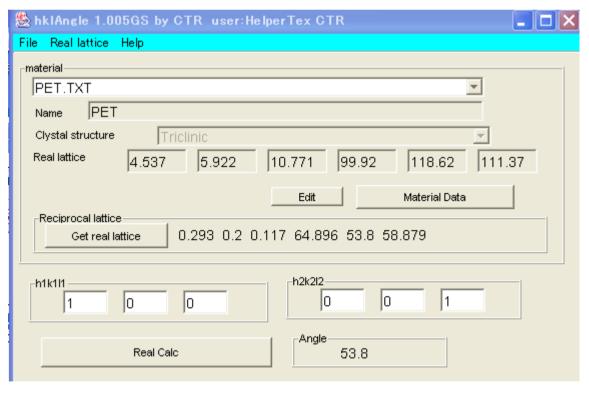
 $\alpha$ 、 $\beta$ 、 $\gamma$ 角度が90度の場合は成り立つが、90度から異なる場合、逆格子で扱わないと合わなくなる 実格子、逆格子の切り替え



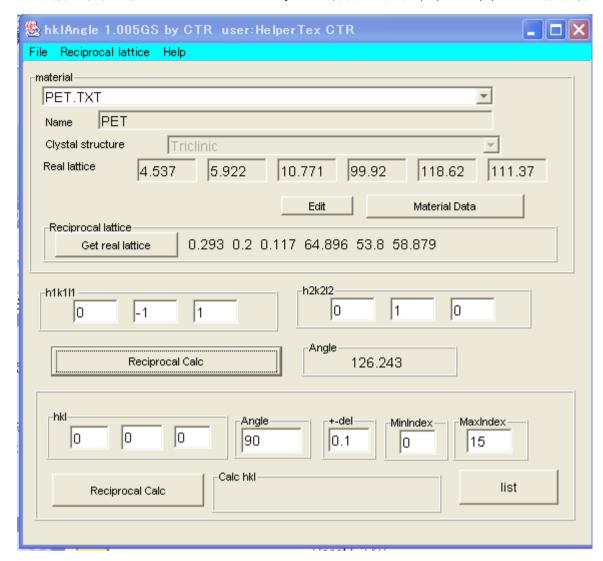
# 4. 例えば、PETの場合



逆格子で $\{1,0,0\}$ と $\{0,0,1\}$ の角度を計算すると、実格子の $\beta$ 角度が得られ、 実格子で計算すると逆格子の $\beta$ 角度が得られる。

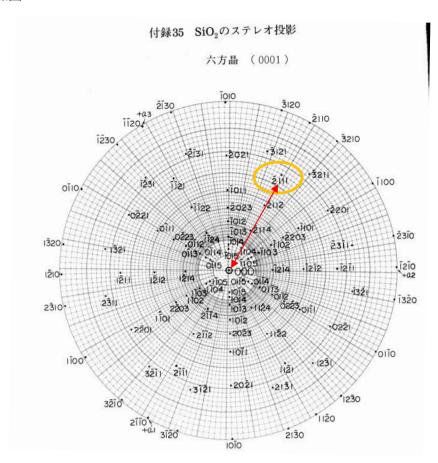


5. 高分子材料評価をWilchinsky法で解析する場合{0,-1,1}と{0,1,0}面の角度計算は

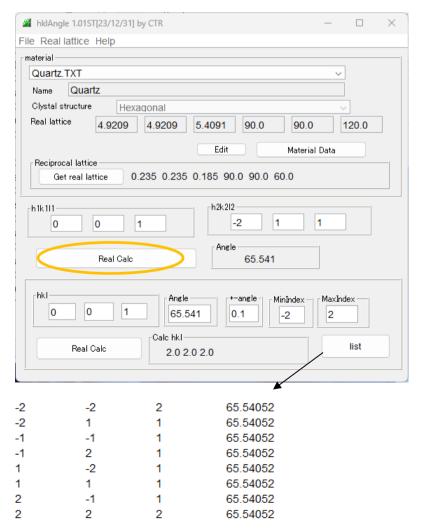


で計算出来る。

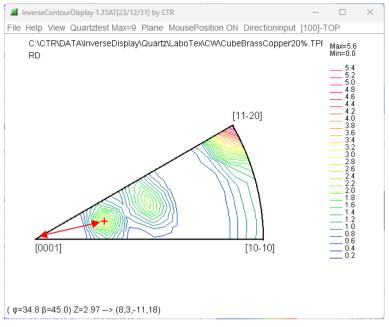
## 6. 極点図

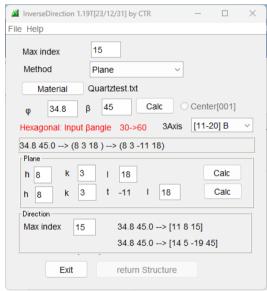


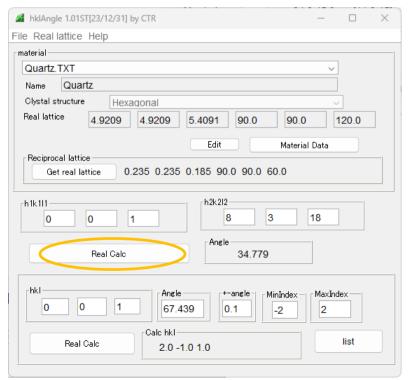
# $\{0001\} - \{-21-11\}$ 角度は



## 7. 逆極点図







以下は

# HCP 金属のシュミット因子計算

## 機能・構造材料工学 岡安和人

より

#### <例3>

純マグネシウムの初方位( $\alpha$ ,  $\beta$ )=(18, 15)としたときの(1122)[1123]すべり系におけるシュミット因子を計算する。

まず(1122)面を fcc 上の指数で表すために(0001)-(1122)の面間角度を計算する。(7)より

$$\cos\phi_2 = \frac{\frac{3}{4} \times \frac{1}{1.62^2} \times 1 \times 2}{\sqrt{\left(\frac{3}{4} \times \frac{1}{1.62^2} \times 1^2\right) \left(1^2 + 1^2 + 1 \times 1 + \frac{3}{4} \times 2^2 \times \frac{1}{1.62^2}\right)}} = \frac{0.572}{\sqrt{0.286 \times 4.143}} = 0.525$$

φ<sub>2</sub>=58.4°

βは0001 標準投影図<sup>2)</sup>より30°であるので(0001)-(1122)=(58.4,30)

--[1123]方向と(0001)との角度は(0001)=[0001]であるので、[0001]-[1123]の軸間角度を計算する。(8)より

